

◎ZEROPLUS のロジックアナライザは小さいメモリ容量でもデータ圧縮により、多くの波形データを蓄積できるようになっています。実際のどのくらい記録できるかわかりにくいので、LAP-C16032 を用いて実際にどのくらいのデータを記録できるかを実験しました。このレポートは PC 側ソフトウェア Version: Standard V3.07(091021)に基づき作成されています。

■リファレンス信号

- ・USB1.1 のデータとして FT232RX を使いバイナリデータを通信してどのくらいデータを取り込みできるか試験します。
- ・取り込んでいる間ずっと通信させ続けます (上り・下りとも)

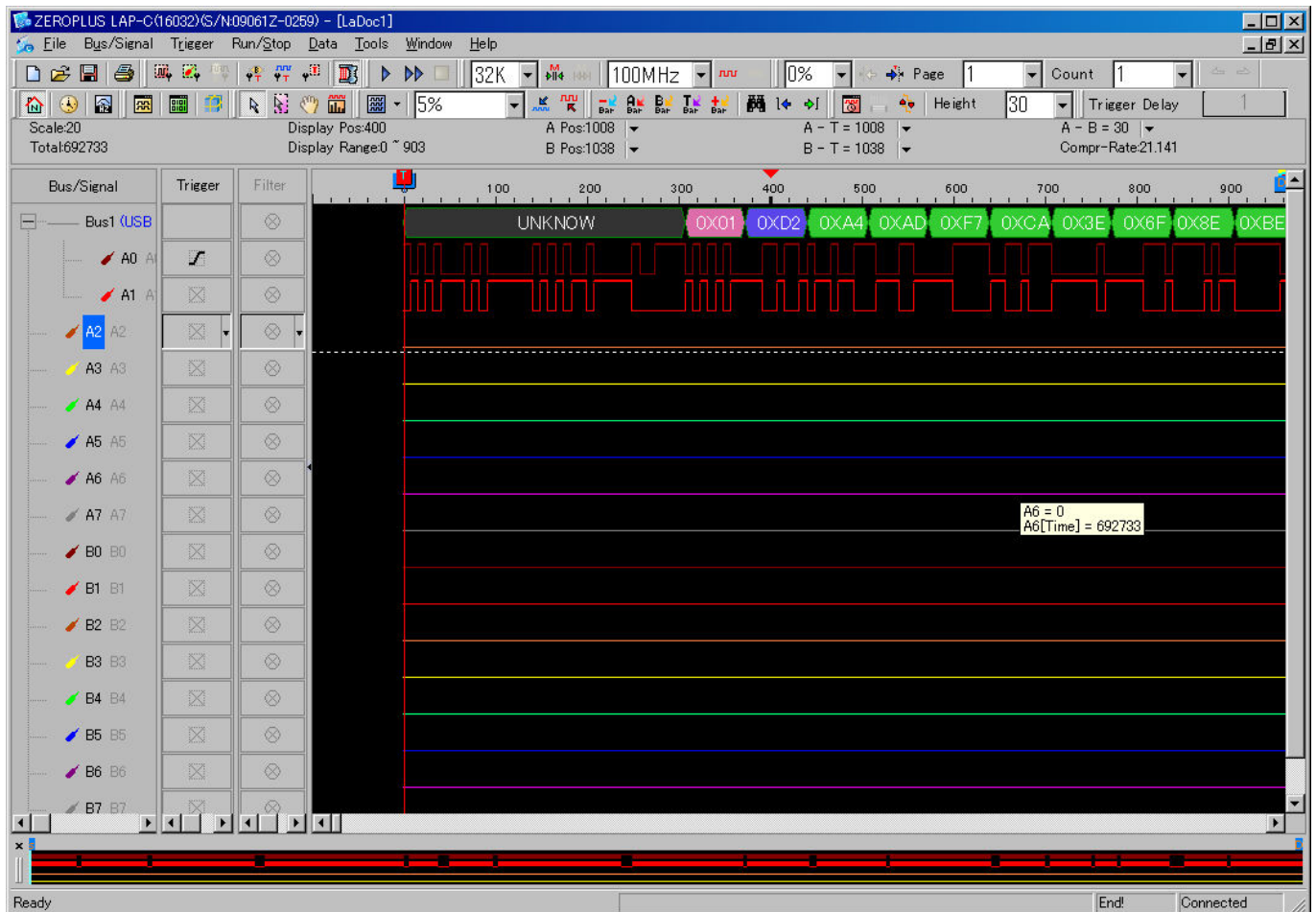
■使用ロジックアナライザ

- ・ZEROPLUS : LAP-C16032
- ・仕様 : 16チャンネル 最大 : 100MHz サンプル/s
- ・波形メモリ : 32kbit/ch

※USB1.1 のプロトコル解析機能はオプションです。(2個無料サービス中 2010年2月現在)

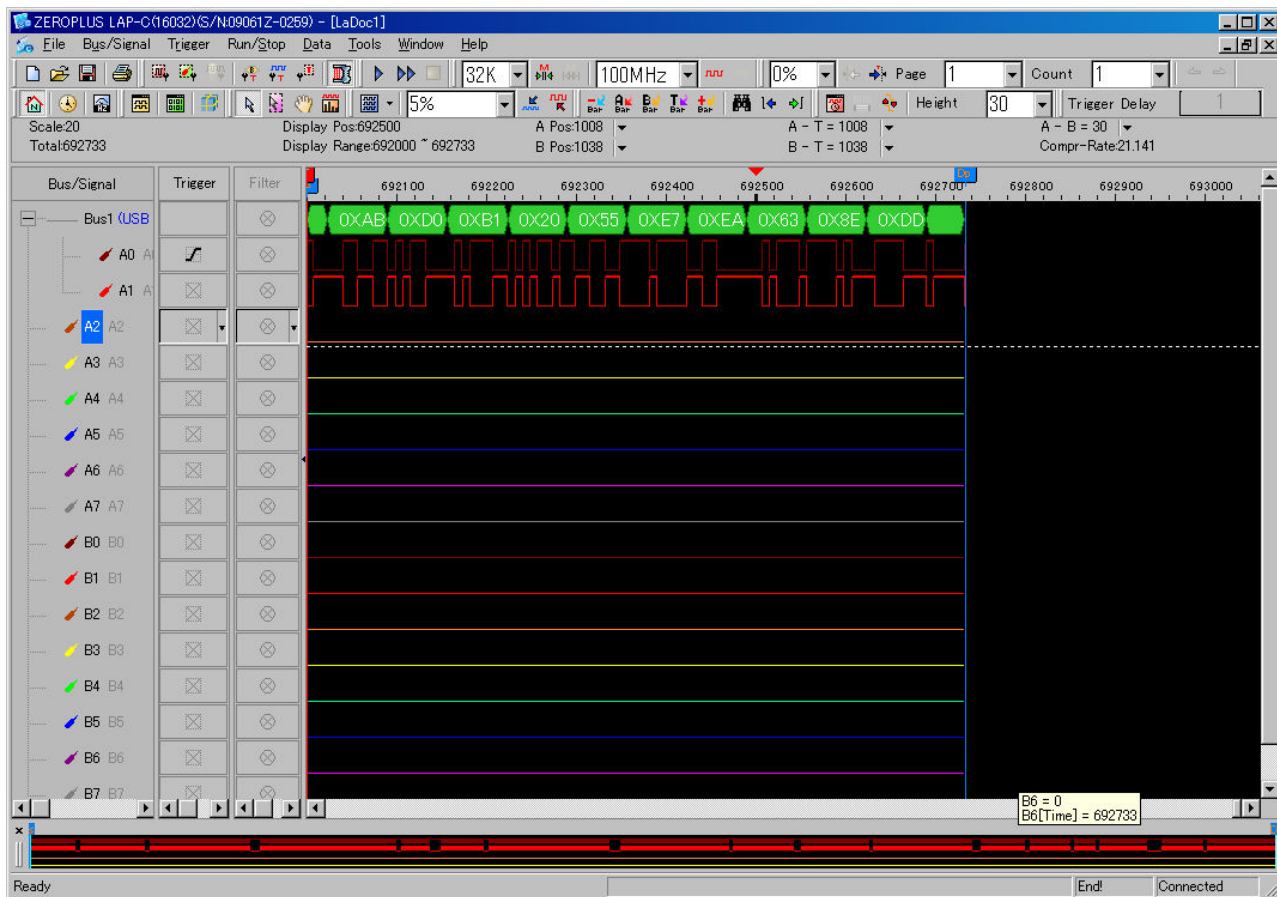
■トリガー最初の部分

条件 : メモリ 32k(最大) , サンプリング 100MHz, トリガー位置 0% データ圧縮 : ON

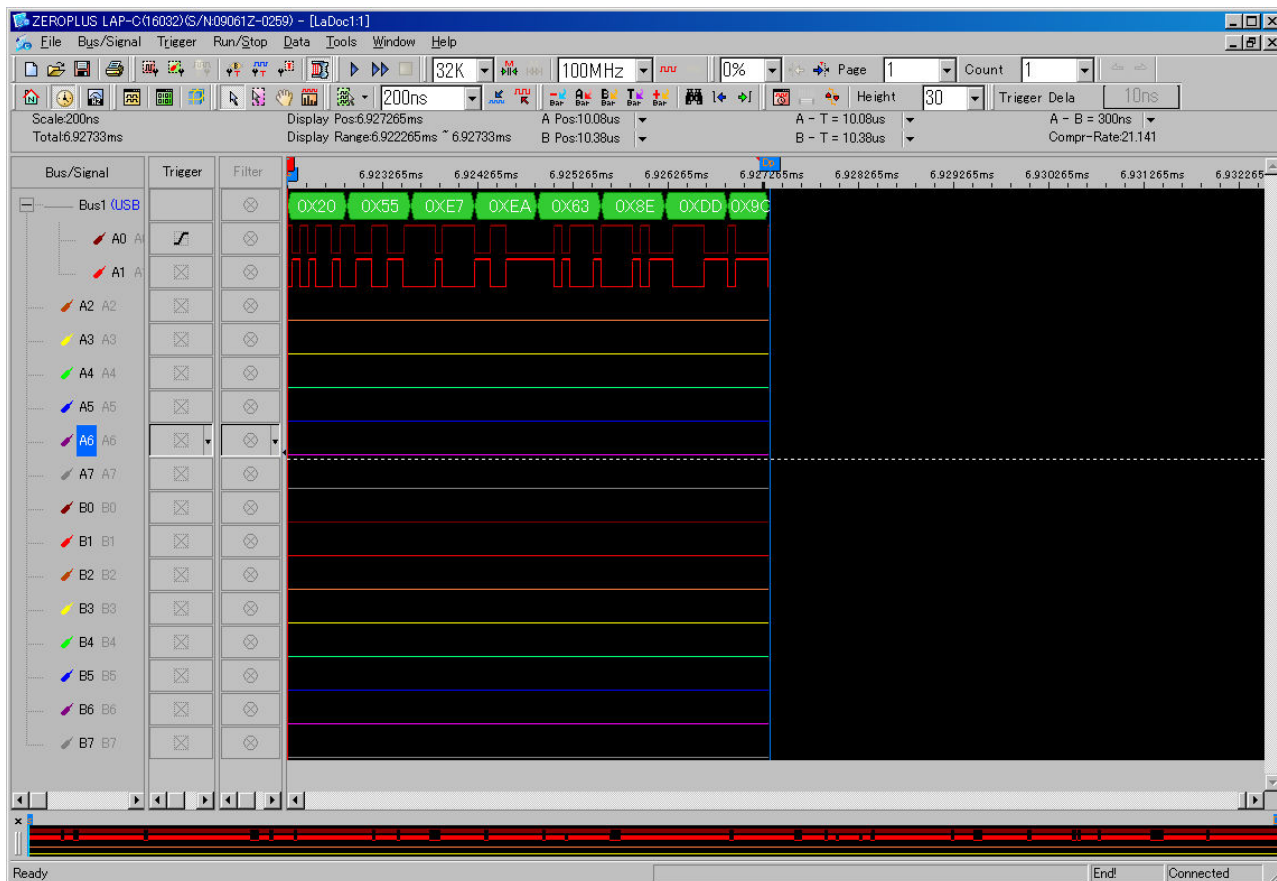


■メモリ末尾の部分

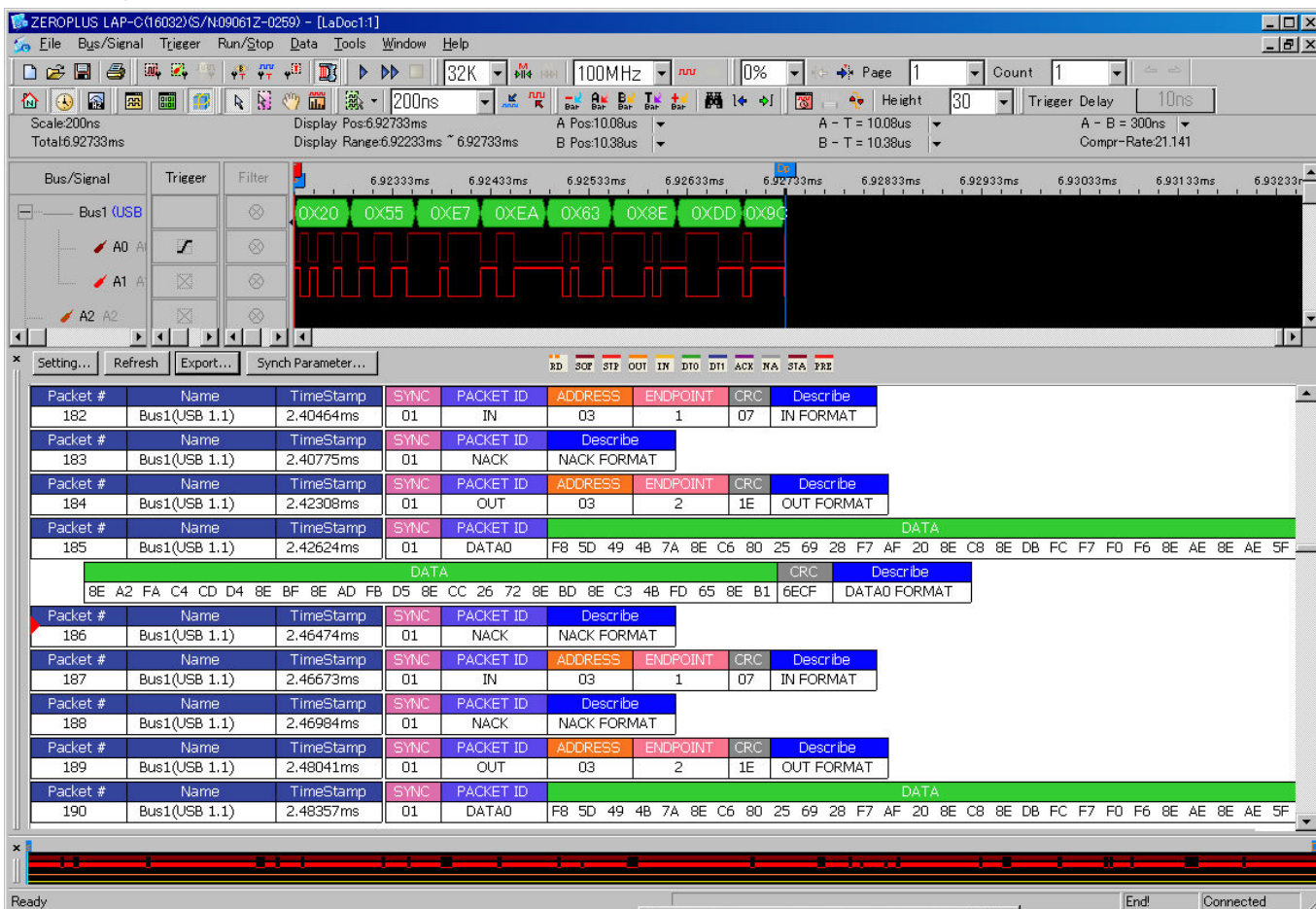
約700キロビット分取り込んでいます。



ビットだと解かりにくい場合はこちら、時間表示で6.927ms



## ■パケット表示



◇パケット数としては何もデータが流れていない時（管理フレームだけの時）で約1400パケット分、データの通信をしている時で500～600パケットほどを取り込みできました。これはお使いになられるパソコン、周辺機器、USB通信ICによって変化しますので参考にしてください。

Copyright (c) 2010 Strawberry Linux Co.,Ltd.  
 株式会社ストロベリー・リナックス  
 作成2010年1月31日  
 無断転載を禁止します。